

組織運営について

組織運営については、デジタル化等による事務の合理化や業務の効率化などの取組みを継続して実施しており、令和元年度は主に以下の取組みを実施しました。

公庫システムの拡充・再構築とサイバーセキュリティ対策

● 公庫システムの拡充・再構築

平成28年度にスタートした次期公庫システムの計画については、お客さまサービスの向上や業務の一層の効率化・高度化に対応していくため、インターネットやそれを利用した外部サービス、パブリック・クラウド等を積極的に活用するとともに、長い間の改修の積み重ねで肥大化・複雑化した業務アプリケーションの再構築を進め、迅速かつ柔軟にニーズに対応できるシステムの構築に取り組んでいます。さらに、近年の急速なITの進化に対応するため、AIやRPA^(注)などの最新のIT技術を業務で活用しています。

(注) RPA(Robotic Process Automation)：パソコン上でのさまざまな操作を、ソフトウェア・ロボットが人間に代わって実行する仕組み

● サイバーセキュリティ対策

ますます多様化し日々脅威が増大しているサイバー攻撃に対しては、技術的対策のほか、外部専門家によるセキュリティリスクの評価を実施することで、セキュリティ管理態勢の高度化を図っています。また、全役職員を対象とした情報セキュリティ研修や標的型攻撃メールの模擬訓練を実施し、情報セキュリティ意識の向上に努めています。

広報誌「日本公庫つなぐ」による情報の提供

日本公庫の機能・役割・取組みを広く知っていただくため、広報誌「日本公庫つなぐ」による情報提供にも取り組んでいます。この「日本公庫つなぐ」では、公庫の取組みのほか、地域や企業の皆さまの取組み等をご紹介します。

詳しくは日本公庫ホームページをご覧ください。

https://www.jfc.go.jp/n/findings/tsunagu_index.html



ダイバーシティの推進

職員一人ひとりが活躍できる職場づくりの実現に向けて、さまざまな取組みを実施しています。

● 女性管理職の積極的登用

「管理職に占める女性の割合7%以上(2023年4月時点)」を目標^(注)に掲げ、登用を進めています。

(注)「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(平成27年法律第64号)に基づく行動計画

● ライフステージに応じた両立支援策の整備

就労継続を支援するため、「結婚」「出産」「育児」「介護」「配偶者の転勤」に対応した転勤特例制度を設けるほか、柔軟な働き方を実現するため、ライフステージに応じた両立支援策を整備しています。

● 職員による積極的な活動の推進

全国152支店において、民間企業や地方公共団体等と積極的に連携し、地域や職場の課題解決に向けて活動しています。

リスク管理及びコンプライアンス態勢の整備・強化

- リスク管理及びコンプライアンスについては、内部管理上重点的に取り組むべき分野として定めており、公庫全体の経営として把握し、又は管理すべきものをコーポレート・ガバナンス委員会で審議する態勢を構築しています。
- このコーポレート・ガバナンス委員会において年度ごとにリスク管理プログラム及びコンプライアンス・プログラムを審議の上定め、その進捗状況を定期的に報告し、リスク管理及びコンプライアンス態勢に係る必要な整備・強化を行っています。



詳しくは日本公庫ホームページをご覧ください

<https://www.jfc.go.jp/>

令和2年10月発行
株式会社日本政策金融公庫 広報部
東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー